



第14回シェル空間構造アジア太平洋会議

低炭素社会に貢献するシェル・空間構造のデザインと施工技術

一般講演・参加のお願い

APCS 2025 組織委員会

Honorary Chairman：大崎純（京都大学）

General Chairman：西村督（金沢工業大学）

Chairman of Local Committee：山下哲郎（工学院大学）

謹啓 貴法人のますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

日頃、シェル・空間構造の設計、施工技術の研究・開発をはじめ学術活動に深いご理解とご支援を賜わり厚く御礼申し上げます。

さて「[第14回シェル空間構造アジア太平洋会議](#)」（略称：APCS 2025）を金沢市文化ホールにて、来る2025年6月9日（月）～6月12日（木）の予定で開催準備を進めております。

- ・6月9日（月）：レジストレーション
- ・6月10日（火）：オープニング・セレモニー、特別講演、一般講演、ウェルカムパーティー
- ・6月11日（水）：特別講演、一般講演、ツアー
- ・6月12日（木）：特別講演、一般講演、バンケット

本会議はアジア太平洋地域の建築家、構造家、関連領域のエンジニアおよび研究者に、シェル構造、空間構造、並びに関連する構造物の設計事例、設計・生産・維持管理に関する技術開発あるいは研究成果の発表・公開を通して、最新情報の交換の場を提供することで、この分野の学術・技術の発展に貢献することを目的としています。基調講演にて「低炭素社会に貢献するシェル・空間構造のデザインと施工技術」を含め、シェル・空間構造に関する幅広い問題提起をするとともにアジア太平洋地域を中心とする参加者から最先端の情報を発信・共有します。

温室効果ガスが遠因かもしれませんが、アジア太平洋地域に限らず、世界各国で異常な気象イベント、それに伴い自然災害が発生しています。本会議の一般講演にて、低炭素社会に求められる建設技術、設計事例、プロダクト技術、各種研究開発の情報発信をお願いしたく、ここに御案内する次第です。

[7月1日から一般講演のアブストラクトの投稿](#)が開始されています。締め切りは Full Paper の提出の場合は 2024/10/20、アブストラクトのみの場合は 2025/2/1 です。関係者各位におかれましては、参加もしくは一般講演への投稿を何卒ご検討いただきたく、宜しく願い申し上げます。

敬白